

なにわ名物開発研究会NEWS

<第4号>

1999年11月17日発行

発行
なにわ名物開発研究会

〒542-0076
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
TEL・FAX 06-6213-5554



大阪のイチビリ大集合 「第二回なにわ大賞」

「大阪一のイチビリ大募集」と銘打ち、オモロイ活動を続ける個人及び団体を表彰するべく、我々なにわ名物開発研究会が、昨年創設した「なにわ大賞」の第二回贈呈式（もーてーしき）が七月二十八日（なにわのひ）、北浜の大森ビルで華々しく行われた。

今年も、二十五年間で通算三百回を超える寄席を開催し、震災後は寄席での入場料収入を寄付するなど、ボランティア活動も積極的に進んでいる「田辺寄席世話人会」が大賞に、明治末期に衰退したと言われる天王寺かぶらを百年ぶりに復活させた石橋明吉さん、一昨年までグリコにおまけを納入し、昨年にはおまけ千点のほか世界のミニチュア玩具を展示した「おまけミュージアム」をオーブンした宮本順三さんがそれぞれ準

大賞に輝いた。

昨年同様、表賞状を読み上げた最後に「あんたはエライ！」の決めゼリフで会場を沸かせた選考委員長の難波利三さんは「今年も様々な分野の活動が応募されましたが、大賞の『田辺寄席世話人会』をはじめどれも甲乙つけがたく、準大賞、特別賞の皆さんも本当に

素晴らしい活動をされている人達の多さに改めて驚かされました。来年以降、賞金をアップさせるためにも多くの方に会員になっていただきたいですし、スポンサーになって下さる企業も募集しています。なにわ名物開発研究会をよろしく願います」と、多くの報道陣を前にしっかりとアピールすることも忘れない。

祝賀パーティーでは、特別賞を受賞した塩崎紙芝居博物館による昔なつかしい紙芝居の実演も披露されるなど、終始アットホームな雰囲気になりました。

第二回なにわ大賞受賞者

大賞 田辺寄席世話人会

準大賞 石橋明吉 宮本順三

特別賞 川谷清一 サンカイスポーツ

塩崎紙芝居博物館 平成こんぶ塾 平野

の町づくりを考える会

（喜びの声は次頁に）

よる
こび

「なにわ大賞」受賞者の言葉



田辺 啓 席

「なにわ大賞」受賞ありがとうございます。全く思いがけない受賞だけに今だにとまどっています。一回一回の寄席を開催するだけが精一杯でふりかえる事が出来ないうままでしたが、今回の受賞を機に資料をま

とめて見て、今更ながらに、多くの人に支えられて来た事を実感しました。
私達のやれる事はたかが知れた事。でもその一つずつの力の寄せ合いが、大阪の文化を作り上げていくのも事実。地に足の着いた活動をこれからも続けて行きたいと思えます。
この度天王寺蕪に「なにわ大賞準大賞」を頂き光栄に思います。伝統野菜の掘りおこしとして皆さんのお力添えを頂き



(有)石橋商店 代表取締役 石橋明吉

たいです。今はじまったばかりで適地探しをしている所です。大阪に代々続いて来た野菜です。大事にして一日も早く皆さんの所に十分お届け出来るように頑張ります。



豆玩舎 ZUNZO (おまけやZUNZO) 館長 宮本順三

はからずも戴いた「なにわ準大賞」に感激いたしました。大阪生まれの大阪育ち、なにわの「いちびり精神」に八十四歳の老人力を加え、みなさまと楽しい「童心と遊び」の世界を創る作業を続けたいと思っています。

月例会報告

異業種ネットワークとして「なにわ」はいい線いってる！

九月十七日、なにわ名物開発研究会
「とりあえず集まって何かやろう

会九月
度月例
会で、

中村智彦・大阪府立産業開発研究所研究員の講演「異業種ネットワークについて」が開かれ、出席した各会員が異業種ネットワークとしてのなにわ名物開発研究会の意義を再認識する機会となった。
「官製の交流会はまずうまくいかない。最初から補助金をあてに始めると、次の年には金がなくなつて、社長



か、補助金ももらえるらしいで」ぐらいの姿勢のほうがいい。ただ、ネットワーク自体で儲かるわけではなく、情報交換の場や知り合いを増やしていく機会として取り組んでいくと、大企業の力が衰えてきた時でも結束力の強さが発揮される。そして軌道に乗ってきた時期に行政の制度を利用すると効果がある。現在の行政の支援制度は自らの好みで選択できるカフェテリア方式になっているので、様々

おまけ博物館「豆玩舎ZUNZO」にて10月例会

十月二十七日、今年度「なにわ大賞・準大賞」を受賞した「豆玩舎ZUNZO」の見学を兼ねた月例会が開かれた。この通称「おまけ博物館」は歴史を偲ばせる大阪セルロイド会館のなかにあり、オプザーバを含む約四十名の参加者

なかたちで活用できるように「なわ」と行政の立場から「なにわ」のような交流グループへの助言がなされた。
異業種ネットワークのあるべき姿を提示され「なにわ」は結構いい線いってるのでは」と野村代表幹事は我が意を強くしていた。発足から三年を経過し会員相互の結束も強まるなか、行政をよきパートナーとして迎えることができるか。

が大阪学の権威、宮本又次先生の弟にあたる宮本順三館長の示唆にあふれるスピーチを熱心に伺った。その後、会場近くの串かつの店「コロッケ」で懇親会を開催、閉店時間をオーバーするまで歓談の輪が絶えなかつた。

総務部

総務部の活動としましては、毎月開催される月例会、幹事会の円滑な運営、及びイベント(例・なにわ大賞)等の各部会のお手伝いが主たる仕事であります。会員の皆様方が当会に参加して良かったと思われる様に、緑の下のWORKを心掛けております。会員の皆様様の当会に対する御提案をお待ち申し上げております。

会員交流部

今期もすでに六カ月を過ぎ各部会で事業を行ってきたわけですが、交流部会事業の目的である「研究会PR」「会員拡大」の具体的手段としての展示会出展は予定されているのが十一月、三月であり、今の準備に忙しく走り回されております。

また、新しい事業としての「新入会員オリエンテーション」は八月度部会より始め、好評であります。

少ない人員ではありますが、各部会メンバーが与えられた責任を果たし続けている事に、担当部長として心より感謝申し上げ、中間報告といたします。

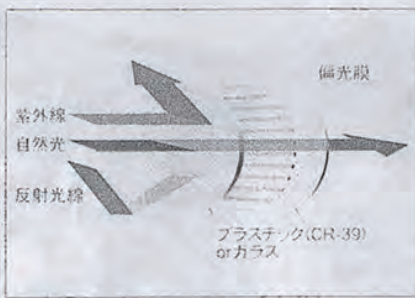
商品開発部

平成十一年八月三日に第二回認定委員会が開催され、今回は九商品が認定されました。これにより

会員紹介

西成で宝石、メガネ、時計の小売、卸しをしています。

メガネブームの昨今、かけるだけで湖の底までが見通せる偏光レ



光学的偏光レンズ構造イメージ

知ってますか？ 「偏光メガネ」

株式会社 黒田屋

シズは大阪でもうちにしかなく、バスフィッシング愛好者から絶大な人気を集めています。紫外線予防にもなることから、白内障を患っている方にもおすすです。

「偏光メガネ」は、紫外線を遮断し、目に負担を減らす効果があります。また、水面の反射光を減らすことで、釣りやすくなります。黒田屋では、様々なシーンに合わせた偏光メガネをご用意しています。

大阪市西成区千本北1-10-23
☎06(6661)5195

印刷デザインに 大阪らしいアイデアを

テレホンカードやシール、パンフレット、ディスプレイ関係など一般の商業印刷なら何でも取り扱っていますが、「なにわ名物開発研究会」の名刺もうちで印刷しています。

元林印刷 株式会社

現在、十一月の「いきいきフェスタ」に間にあうように、あぶらとり紙を制作中です。あぶらとり紙というと京都や金沢が思い浮かびますが、大阪らしく、大阪城や天閣さん、通天閣をデザインし、形も大阪城のかたちに切り抜いた型紙にしたり「工夫加え「なにわのあぶらとり紙」として売り出していきます。もちろん、材質の良さでも他に負けないものをつくりたいです。大阪はアイデアが勝負、印刷業として、なにわ名物の開発にいろ



いろなアイデアを出していければと思います。

皮もおいしい シューアラクレーム

ポルトノアール

日本橋で百数十年、干菓子の技を磨いてきましたが、洋菓子修業でも二十年、神戸のアンリシヤルパンティエやフランス・リヨン近郊の古城を改装した国立の専門学校でも勉強してきました。

広い年齢層から好評を博しています。マダカスカル産バナラビーンズを使用したなめらかなクリーム、そしてココのある香ばしい皮が絶妙な取り合わせで、若者にかぎらず幅広い年齢層にうけています。皮のおいしさは、こつちがメインといつても過言ではありません。

手作りの洋菓子店「ポルトノアール」を始めたのは七年前で、シューアラクレーム「麦の小石」が幅

日本橋で培った和菓子の熟練した工程に洋菓子の技術を取り入れた、食感がおもしろい和盆糖クッキーなども人気を呼んでいます。ケーキも三十種類以上用意しています。和と洋の要素を併せ持つお菓子を新しい大阪名物にと、頑張っています。



大阪市中央区日本橋1-22-10
エステート黒門1F

なにわ名物開発研究会

総会開催

さらなる拡大を

なにわ名物開発研究会が今年で結成四年目を迎えるにあたって、総会並びに特別講演会が、五月二十一日、浪速区蓬莱パンチャンにて行われた。

野村育郎代表幹事は、「わが会もいよいよ四年目に入りました。今までの活動はもちろん、新しい活

合計十三商品が認定商品となりましたが、まだまだ少ないと思っておりますので、各社独自の企画の商品開発部会への応募をお待ちしております。

商品開発部会、査定委員会、会員交流会ら エネルギーに活動を展開！

十一年度も下半期をむかえ各部会、チームの活動が活発に繰り広げられています。それぞれ活動案内は月例会や、事務局からのFネット通信にて行われていますが、まだ参加をしていない方はぜひ一度のぞいてみて下さい。ユニークな異業種ネットワーク・なにわ名物開発研究会ならではのメリットを共有できることを約束します。

(事務局)

動に更に精力的に取り組み、異業種ネットワークとしての輪を広げていきたい」と挨拶。

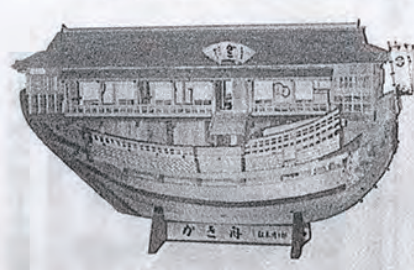
特別講演では、プロダクトデザイナーの喜多俊之氏が「私は皆さんに、タイムスリップすることを提案したい。昔の日常生活の中に色々なヒントが隠されていると思うからです。本当のタイムスリップは出来ないが、過去から現在のなにわの中にあふれているアイデアをもとに、これからの商品開発を行なって下さい」と力説した。

対外活動あれこれ
イベントに奮って
参加しましょう

なにわ名物横丁開催

九月二十三日から二十九日まで、梅田の阪神百貨店八階で「なにわ名物横丁」がイベントチーム・瀧

川理事担当のもと開催された。平成九年一月に続いて二度目となるこの催しに会員二十六社が参加、自慢の商品を販売した。また、一、二回の「なにわ大賞」の受賞者の紹介も同会場で行われ、おまけ博物館、天保山山岳会、川谷清一さんらが連日参加したのをはじめ、塩崎紙芝居博物館・鈴木副館長による紙芝居の実演も行われ、特別出展のワッハ上方とともに多くのギャラリーで賑わった。ただ、売上額は当初の見込の半分に届かず今後に大きな課題を残した。



彦八まつり

九月四〜五日、大阪市天王寺区生玉神社境内において「彦八まつり」が開催された。上方落語の始祖、米沢彦八にちなんで約十年前から上方落語協会が中



心に
な
つて開
かれて
おり、
今年
は二日
間
で五
万人
が
つめ

かけた。桂小米朝実行委員長をはじめ、寄席やテレビ・ラジオでもおなじみの落語家さんたちが趣向を凝らした出店を競い、お客さんたちとの直接のふれあいを楽しんだ。なにわ名物開発研究会では「上方演芸笑店」がワッハ上方とともに参集殿(奉納落語会等が開催された)一階に出展し、ワッハ上方のパネル展示とともになにわ名物の販売と研究会のPRにつとめ、一日中多くのお客さんでにぎわった。来年は、ぜひなにわ名物開発研究会として参加したいと思わせる大阪の新名物イベントであった。



今年度新入会員紹介

- 五月度入会者(九月未現在)
- (株) 中島食品・(株) 黒田
- 屋・(株) サトープロダクト
- 六月度入会者
- (株) いわさき
- 七月度入会者
- (株) キャリアプラザ・野田
- 陽二郎(個人会員)
- 九月度入会者
- 豊国ヌードル(株)

よってらっしゃい、みてらっしゃい
何かオモロイこと一緒にしませんか?
新入会員さん、随時募集中です。
なにわ名物開発研究会

〒542-0076
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
TEL・FAX 06-6213-5554
または06-6211-0685
http://osaka-net.com/naniwa
E-mail naniwa@osaka-net.com
代表幹事 野村育郎
(株) せのや

